

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 4 日

事業所名 放課後等デイサービスみんなの学び館

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		福岡市の設置基準はクリアしています。また、用途に応じて応じて相談室をお子様の活動のために開放できるようにしてあります。	
	2	職員の配置数は適切である	7		お子様10人に対し指導員2人という国の人員配置基準は上回っています。また児童分野・福祉分野での様々な経験を持っているスタッフを配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	5		建物の構造上、完全なバリアフリー化は難しいのが現状ですがフリースクール利用のお子様为中心で移動の介助が必要なお子様はいません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		PDCAサイクルをこころげ、事前・事後のミーティングに加え、終礼前にはスタッフ全体でのミーティングも行ってあります。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	保護者等向け評価表による評価・公開を実施し、保護者等の意向は常に把握するよう務め、また業務改善にもつなげています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		令和6年3月に公表させていただいております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		現在は利用者と事業者のみの評価となっておりますが、今後は何年か区切りで実施することを検討しております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		外部の方も交えた研修会を実施するなど、支援の質の維持・向上に努めています。また1人が研修に出たら資料をみんなで学んでいます。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		見学や体験の際には面談を必ず行い、定期的に保護者様との情報共有・意見交換の場を持つように努めています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		基準を満たしたインテークシート・アセスメントシートを整備しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		ミーティングでの話し合いをもとに活動プログラムの立案を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		工作や音楽、屋外での運動や屋内でのボードゲーム、SSTなどの活動をバランスよく設定しています。また、季節に合わせたものや子どもの意見を取り入れるなどの工夫をしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		子どもの利用状況を勘案して柔軟に対応している。また長期休暇には平日と比べて活動時間を多く取りやすいことから、時間のかかりがちな遠方での活動をするなどの工夫をしております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		個別の課題と集団・社会的な課題を個別の支援計画に組み込み、それに基づいて個別活動・集団活動をそれぞれ設定しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		事前・事後のスタッフミーティングを行い、翌日の支援内容・役割分担を確認しております。また、振り返りや情報の共有・意見交換もっております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		お子様ごとの指導報告を毎日記録しているほか、全体の活動報告も毎日欠かさず作成しております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		半年に1度行い、必要に応じて見直しを行っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7		工夫して行うようにしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		主に責任者が職員から聞き取りを行いながら対応しております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		フリースクールと連携して毎日話し合いを行っております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1		現時点で受け入れ実績はありませんが、必要な対応は確認済みです。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		現時点で受け入れ実績はありませんが、在籍した際には情報を提供する準備がございます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	4	2		現時点で該当するお子様はおりませんが、移行先や保護者様の要望に応じて情報を提供する準備があります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		昨年、発達障害センターの研修を受けました。今後も活用していきたいと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7		当法人併設のフリースクールやアフタースクールのお子様らを中心に交流を行ったり、年末には他の放課後等デイサービスと合同フェスタを開催しました。また今後バザーを土曜日に開くなど交流の機会を増やしていきたいと考えています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2		今のところ協議会への参加はありません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		半期ごとのモニタリングに加え、毎日活動の様子や所見などの連絡を欠かさず行っております。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7		必要に応じて相談援助も行っております。今後も充実させ積極的に行っていきたいと思っております。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約前に説明を行っております。また、不明な点や質問には職員が随時こたえられるようにしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		必要に応じて相談援助も行っております。今後も充実させ積極的に行っていきたいと思っております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	2		昨年の3月にフリースクールを中心に対面で開催しており、今年も3月に開催予定がありますが保護者同士の連携があまりとれていないため、内容を考えていきたいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		非常勤のスタッフも含め情報共有体制は整えており、有事の際は状況を全員が速やかに把握できるようにしております。また、責任者に加え、代表者も交えて対応する準備がございます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		活動概要や行事予定は常に連絡しており、会報も2023年度から発行しております。	
	35	個人情報に十分注意している	7		書類は鍵付きの場所に保管しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		資格補助的教材を使うなど伝達方法を工夫したり、伝わる方法をお子様に合わせています。その日の活動内容をホワイトボードに記載して表示しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		1月から月に1回バザーを開催しております。地域の方に伝わるように今後も広報を工夫しながら続けていこうと考えております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			保護者様への周知徹底までは至っておりませんでした。周知徹底できるよう努力してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		6月に高潮、11月には消防士さんと呼び火災の避難訓練を実施いたしました。今後も様々な災害を想定し、定期的な避難・救出訓練を行っていく予定です。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止の職員研修と今後必要な研修はしっかりと充実させていきたいと思っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		身体拘束が必要と思われる利用者はいませんが、今後の状況を見て検討したいと思います。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2		医師の指示書はないがアレルギーがあれば活動に取り入れないようにしています。必要に応じて服薬・緊急搬送先などの取り決めに保護者と行っております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		事例集は作成していませんが、ヒヤリハットの報告書は作成して事業所内で共有するように努めています。	